

高石市議会議員 山敷めぐみ（無所属） 議員活動報告

# めぐみ通信

Vol.30-2

9月・12月議会報告



## 難波方面高架切替は2年延伸し、2021年5月に！



12月議会では、東羽衣駅に繋がる歩道橋に設置するエレベーター工事費が約2,665万円アップし、合計約3億6,900万円になるという契約変更が審議・可決されました。私も賛成はしましたが、業者に言われるままに契約を変更するのでは無く経緯なども含めた精査が必要、と意見をしました。

エレベーターの完成も、当初は昨年12月28日だったものが今年の3月25日に伸びました。そして、難波方面高架切替も、当初より2年間完成が伸びたことが明らかになりました。

羽衣駅と東羽衣駅を結ぶ歩道橋（ペDESTリアンデッキ）の総工費は約10億円だそうです。途中（2012年）に高石市から設計の大幅な変更を申し出たりしたことで費用も高くなり完成も遅れが出ています。

歩道橋自体は今年の夏には完成するようですが、その後についても必要な部分は市が管理し、それ以外は無駄に市民の税金が使われることの無いように、しっかりと交渉を進めて貰いたいと思います。

## ☆☆議会のインターネット中継が始まりました！☆☆

12月議会からインターネット中継と録画配信が始まりました。本会議も委員会もネットでご覧頂けます。本会議での採決は「電子採決」も可能となり、賛成・反対がモニターに表示され、それも含めてインターネットでご覧頂けます。

高石市議会ウェブサイトの「議会中継」をクリックして是非ご覧下さい。



### 新着情報

- 平成31年1月7日 第194号たかいし議会だより（平成31年1月1日発行）
- 平成30年12月18日 意見書・決議
- 平成30年12月17日 視察報告書（管外行政調査報告書）
- 平成30年11月29日 議会中継、視察報告書



## 図書館の指定管理料、大幅増額に反対しました

高石市立図書館は、2016年に運営を指定管理者に3年契約で委託しました。私は「教育のまち高石、と言うなら“知的拠点”としての図書館は自ら運営するべき」と反対したのですが「年間約1000万円の経費削減になる」とのことで可決されてしまった経緯があります（2015年6月議会）。

ところが昨年の12月議会に示された2019年度から5年間の委託料は**年間約1900万円の値上げ**となり、経費削減のメリットも全く消えてしまいました。今までは年間8,999万円だった委託料が1億916万円となるのです。中でも年間800万円も計上されている“本社管理費”の説明が二転三転し、根拠が疑われる状況でしたので私は他の議員と一緒に増額分を削除する修正案を提出。しかし、原案通り大幅値上げの委託が決まってしまうました。納得できません。

## 35人以下学級の実施を求める請願、賛成多数で可決！

12月議会に「高石市立の小・中学校で35人以下学級の実施を求める請願」が提出され、賛成多数で可決されました！（賛成9名：山敷・寺島・出川・明石・木戸・二瓶・松本・永山・畑中各議員。反対：6名）。

子どもたちの教育環境が少しでも良くなるよう、高石市独自で予算をつけて少人数学級が実施されることを期待します。

少人数学級は、一人一人の児童・生徒に先生の手が届きやすくなるというメリットがあります。私も20年間高校教員として授業やホームルームを担当しましたが、40人の生徒を隅々まで把握するのは本当に大変でした。

特に「分らんなあ」「つまらんなあ」という表情をしている生徒に注意を向けるべきなのに、大きな声で自己主張する生徒に目を奪われ対応に追われてしまう、ということが多々あったことは大きな反省点です。



学級の人数を少なくすることで子どもたちのニーズを細やかに汲み取る教育が実現する事を望みます。

なお、ほぼ同様の趣旨の「決議」は全会一致で可決となりました。

## 台風21号に関する9月議会補正予算 2億2,126万円

ゴミ処分	4,126万円	
公共施設修繕工事	1億6,200万円	
緊急を要する予備費充当	1,800万円	←ブルーシートなど

2018年は災害の多発した1年でした。6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨災害と続いた後、9月4日（火）には高石市にも大きな被害をもたらした台風21号が襲来しました。今なお復旧途上の家屋なども多く見受けられます。心からお見舞い申し上げます。

当時、高石市にはブルーシートの備蓄はありませんでした。

国からの支援で1,000枚を452万4,000円（1枚4,524円！）で購入したのが7日（金）。しかし「1世帯に2枚配布する」ということについては市のウェブサイトに掲載するなどだけで広く市民に知らされる事はなく、「知らなかった！」という声が多く寄せられる結果となりました。

泉大津市など周辺他市では広報車が「ブルーシートを配布します」と回ったり、放送が入ったり、フェイスブックなどのSNSで発信したりエリアメールで知らせたりしていました。

出来るだけ多様な手段で情報を発信することは、公平な行政運営には欠かせません。多くの議員からも様々な提案がなされました。他市と比べて至らなかった点は率直に反省し、次回は失敗を繰り返さないようにすることが行政の責任です。

### ■緊急放送が聞こえない！■

市民の多くの方々から「緊急放送、内容が聞き取れない！」との声が届きました。9月末の台風24号の際には、市内を区分けして何度かに分けての放送をしていました。

少しは聞き取りやすかったのではないかと思います。

私は泉大津市のように電話で直近の放送内容確認ができるシステムの導入を求めています。また、放送内容をすぐに市のウェブサイトへアップするよう求めました。出来る事は何でも採り入れて、災害に強いまちづくりをして頂きたいです。



**12月議会の一般質問では・・・****■災害タイムラインの策定を求めました**

災害タイムライン、というのは、災害が起ったときに具体的に「誰が」「いつ」「何をするか」を明確に定めて組織で共有しておくものです。高石市では地震についてのタイムラインは策定されていない、ということでしたので、出来るだけ早くに策定するよう求めました。

また、避難所に指定されている小学校体育館への無料Wi-Fiの設置を要望した際、市長からは「学校にWi-Fiを付けることは如何なものか。現時点で小学校にWi-Fiを設置する考えはない」との答弁があり、とても残念に思いました。総務省も避難所へのWi-Fi設置には2分の1の補助を設けて推進しています。災害時は情報の取得が本当に大切です。是非とも国の補助を活用した避難所へのWi-Fi設置を実施してもらいたいものです。

**■ヤングケアラーへの理解と対応を求めました**

ヤングケアラーというのは、家族にケアが必要な人がいる18歳未満の子どものことです。親や兄弟などのケアを担う子どもたちが少なからず存在する、という視点を持った児童・生徒対応を求めました。「遅刻や欠席が多い」「宿題をしてくれない」などの「困った子」が実は「困っている子」である可能性に着目して必要な支援を行うこと、社会的資源に繋げることをお願いしました。

山敷めぐみ事務所では、その時々でテーマを決めて講師をお呼びしたり、高石市政や議会の話をしたり、皆様とのフリートークをしたりしています。 ※お越し下さる際は下記連絡先までご一報ください。

2月 9日(土) フリートーク 14時～15時半 事務所にて(参加無料・要申込み)

2月 16日(土) 第26回 クリア高石 議会報告会 パンセ羽衣にて(詳細下記参照)

3月 2日(土) 14時～第14回憲法カフェ(下迫田浩司弁護士をお招きして)資料代:500円

**第26回 クリア高石議会報告会**

2月16日(土) 午前10時～パンセ羽衣3階  
(会議室にて)

WEBサイトもご覧ください

<http://yamashikimegumi.com/>

発行: 山敷めぐみ(会派:クリア高石)

連絡先(事務所): 高石市羽衣5-14-13

[megumi28@gmail.com](mailto:megumi28@gmail.com)

072-262-3979